

令和8年度 第1回石巻市病院運営審議会会議要旨

1 開催概要

- (1) 日 時 令和8年8月3日（月）午後6時30分から午後7時58分まで
- (2) 場 所 石巻市立病院 講堂
- (3) 議事録署名委員 鈴木 徹 委員、澁谷 和彦 委員

2 出席者・欠席者一覧

(1) 出席委員（14名）

会長：千葉 淑朗、副会長：石垣 英彦

委員：鈴木 徹、澁谷 和彦、矢川 昌宏、工藤 周平、上野 達之、高橋 了、伏見 不二雄、
櫻井 美子、原 律子、笹舘 千恵、山内 美子、鈴木 静江

(2) 欠席委員（1名）

委員：大槻 ひろみ

(3) 事務局・説明者（11名）

齋藤市長、椎葉病院局長、阿部牡鹿医療センター所長、阿部事務部長、舘山事務部次長、
尾形病院管理課長、松本医事課長、宮川牡鹿医療センター事務長、橋本病院管理課長補佐、
大山病院管理課主幹兼施設用度係長、境病院管理課総務係長

3 委嘱状交付

本年4月、社会福祉法人石巻市社会福祉協議会で人事異動があり、後任者に委嘱状を交付。
任期は、石巻市病院運営審議会条例第3条第2項の規定により、前任者の残任期間となる。

※任期：令和8年4月1日から10月31日まで

4 開 会

5 市長あいさつ

6 議 事

(1) 報告事項

令和7年度石巻市病院事業会計決算の概要について事務局より説明

◇千葉会長

一時借入金の借入元について質問

◇病院管理課長

金融機関からの借入であり、年度を跨いで4月に返済していると回答

(2) 審議事項

石巻市公立病院経営強化プランの点検・評価について事務局より説明

評価方法：総務省のガイドラインに沿った項目・目標値を用い、市独自の評価手法（S～E
の6段階）で実施

評価結果：石巻市立病院 自己評価「B」、牡鹿医療センター 自己評価「B」

審議結果：委員による採決の結果、全会一致で審議会の評価も「B」と承認された。

質疑応答

◇上野委員

目標値の設定根拠について質問

◇事務部長

経営強化プランは令和５年度に設定した数値目標であり、その後の物価上昇や人件費高騰など、情勢の変化は加味されていないと説明。目標値自体がどうかという御指摘は妥当であり、検討していく必要があると回答

◇上野委員

院内で経営改善に向けた取組の実施の有無について質問

◇病院局長

年度毎に経営状況を分析するため、５つのワーキンググループで月々の目標値を掲げ、細かく分析しながら改善策や費用の削減に取り組んでいる。人事院勧告や物価高騰の影響で試算が崩れたが、今後も経営改善策は継続していくと回答

◇上野委員

牡鹿医療センターの病床数を１５床にしたことについて質問

◇牡鹿医療センター所長

実際の入院患者は２、３人であり稼働率は上がっていない状況にあるが、地域からの要望により病床数を１５床に決定したと説明

7 その他

(1) 意見交換

◇千葉会長

石巻赤十字病院の患者受け入れ状況は手一杯であり、今後、石巻市立病院の体制を考える必要がある。夜間の患者の受け入れ状況について、スタッフの人数が限られているのは理解するが、石巻市民のための病院である。少しでも構わないので対応をお願いできないかと相談

◇病院局長

石巻赤十字病院と当院の夜間救急については、診療体制が全く異なる。当院は医師一人の宿直体制であり、各診療科がオンコール体制を敷いているが、受け入れ率を５割に上げることは厳しい。診療体制に破綻をきたすようでは、本来の業務を全う出来ない。出来る限りの努力はするが、かなり限界はあると回答

8 閉 会

◇石垣副会長

石巻圏域の医療状況は石巻赤十字病院に一極集中しているので、市立病院には皆が期待している。大変なのは重々承知だが、もっと尽力してほしいと提言